



国指定重要文化財旧済生館本館

郷土館だより

No.100

令和 8. 3. 31 発行

〒990-0826 山形市霞城町1番1号
山形市郷土館 TEL/FAX 023(644)0253
URL <https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/bunkasports/bunkazai/1006705/1008027.html>

郷土館だより第100号の刊行にあたって

山形市長 佐藤孝弘

郷土館だより第100号の刊行を記念して、ごあいさつ申し上げます。

山形市は東を奥羽山脈、西を白鷹山地に囲まれた村山盆地の南東部に位置し、最上川の支流である馬見ヶ崎川や立谷川、須川などが流れる美しい自然環境の中で、様々な歴史文化が育まれてきました。

また、これまで山形市は、戦災や震災の被害を受けておらず、数多くの文化資産が現存しており、山形市郷土館(旧済生館本館)も、その中の一つであります。明治11年9月に初代県令三島通庸の構想のもと、県立病院として竣工され、同年12月に太政大臣三条実美により「済生館」と命名されました。明治37年からは市立病院として運営され、昭和41年には、明治初期における擬洋風建築の歴史を示すものとして価値が高いことから、国の重要文化財に指定されております。また、昭和44年には霞城公園へ移築復元され、昭和46年からは「山形市郷土館」として開館し、いまに至っております。

現在、山形市では、「山形市発展計画

2030」に2大ビジョンである「文化創造都市」「健康医療先進都市」を掲げ、山形市が持つ強みを活かしながら、選ばれるまちづくりを推進しております。山形市郷土館のような歴史的価値のある建造物も「文化創造都市」である山形市の価値ある地域資源であることから、令和6年に「山形市文化財保存活用地域計画」を策定し、市内に数多く残る文化財の保存・活用を着実に推進しているところです。

今回、第100号を迎えた「郷土館だより」は、当施設の歴史や日ごろの活動などについて紹介し、その価値や魅力を広く発信することを目的に発刊しております。今後も150号、200号と継続して刊行していき、魅力ある誌面づくりに取り組んでまいります。

結びに、第100号の刊行にあたり、これまで編集・執筆に携わってこられた関係者の皆様、そして日頃より山形市郷土館の活動を支えてくださっている多くの市民の皆様へ、心より感謝申し上げます。